



第3期ワークショップへのお誘い

一緒に人生紙芝居をつくりませんか!

◇奥田真美

オンライン開催に挑戦

第1期は対面で開催できたのですが、今回はコロナ禍に配慮して、オンラインでの開催にチャレンジしました。プログラムは、参加者全員に向けて行う「全体講義」6回と、その間に各参加者と一対一で作品づくりを具体的に詰めていく「個別オンライン」3回。3か月かけて一作品を完成させます。参加者には主人公の情報に合わせた作品を貸し出して、職場や本人・家族への説明の際や、下絵描きや色塗り作業の際の参考にしてもらいました。

誰一人脱落させないで、完成まで伴走し

なくてはという重圧は相当なものでしたが、それは受講生も同じだったようです。

個別オンライン相談では、「上司から家族への聴き取りの許可をもらえなかった」「このシーンもあのシーンも外せない。とても10枚にはまとめられない」「認知症によるちよつと困った行動を描くと本人が悲しむのでは?」など、たくさんの相談を受けました。人生紙芝居づくりに初挑戦する参加者の皆さんが、工程で次々と直面するリアルな悩み。まさに「生みの苦しみ」でした。

でも、それは創造的な作業をしているからこそその苦勞であり、相手を深く知ること



オンライン発表会
私がつくった人生紙芝居を
見てください!

12月7日(火) 19:00~20:30

無料!!

がんばってつくった人生紙芝居。このままで終わるのはあまりにもったいない! というわけで、オンラインでの発表会を企画しました。

制作者が上演します。人生紙芝居を実物(カラー)で体験できます!

◆申込・問合せ先: プリコラージュ編集部

※お申込みいただいた方に zoom の URL をお送りします。忘年会も兼ねて、お酒でも飲みながら気軽にご参加ください。

で初めて味わう苦惱であり、そして何より、相手へのリスベクトや愛情がより高まっているからこそその葛藤なのだと思います。一緒に苦しんで、一歩一歩進んでいきました。

最終回の発表会は感動的でした。それぞれ描かれている主人公の方に、私は一度もお会いしたことがないわけですが、その方の生き生きとした人生の来し方が伝わって



きて、愛おしささえ感じました。あなたにも、私にも、世の中の一人ひとりに人生ドラマがあるのです。わずか10枚ほどの人生紙芝居ですが、他者に感動を十分に与えられる素晴らしいアイテムだと改めて思いました。

新しい発見

今回、二人の方が、母や姉という身内の人を主人公にした人生紙芝居をつくりたいと参加されました。

私はこれまで、自分の勤めるデイサービスのご利用者を主人公にした人生紙芝居だけをつくってきたので、家族に捧げる人生紙芝居という形について、とても勉強になりました。家族としてたくさん時間をともに過ごしてきた人の人生を描こうとすると、あまりにも多くの情報をすでにもっているため、かえって主人公の人生のどこに焦点を当てたらよいのかわからなくなり、絞り込む作業に大変苦労されました。

お孫さんたちが紙芝居に興味をもち、色塗り作業などをお手伝いして、おばあちゃ

んの昔の生活ぶりや人生を深く知っていく様子には、家族の絆を一層深める機会になったなあと感じました。

これから——私の野望

私の野望は、介護現場に「人生紙芝居ケア」というものを定着させることです。人生紙芝居づくりを通して、一人でも多くの方に、介護の楽しさを体感していただきたいし、社会的にも、介護という仕事がいかに深みのあるものとして、価値を高めていけたらと思います。

まだ今は、「人生紙芝居」という言葉を知らない人がほとんどですし、知るだけでなく、これはつくってなんぼの世界ですから、道のりは相当長くなりそうです。

今回、オンライン形式を取り入れたことにより、人生紙芝居にふれてみたいという方とつながりやすくなったと実感しています。

第3期のワークショップを2022年に開催します。ご興味のある方は、お問い合わせください。新しいケアに出会えることをお約束します。

第3期ワークショップのご案内



- ◆日程： ①5月20日(金) ②6月10日(金) ③7月1日(金) ④7月22日(金)
⑤8月12日(金) ⑥9月2日(金)
※間に個別オンライン相談(30分程度)3回
- ◆時間： ①⑥19:00~21:00 ②③19:00~20:30 ④⑤19:00~20:00
- ◆プログラム：人生紙芝居とは何か/候補者選び/聴き取り/ストーリーづくり/下絵を描く/色塗り/発表会
- ◆参加費：6回通しで25,000円(ブリコ読者15,000円)
- ◆申込・問合せ先：ブリコラージュ編集部へ

